

政策シート 政策名 06 森林管理を通じた環境対応社会への貢献

予算費目名 01 林業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後) ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後) ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大することで、SDGsや脱炭素社会の実現に資する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源			
-----	-------	----------	-----	--------	-------	-------	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	86,948	143,190	154,741	139,680	125,273	142,905
決算	70,673	131,182	112,261	110,357	111,427	125,431
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	82,580	63,560	63,080	68,580	73,980	72,450
年間経費(決算+A+B)	153,253	194,742	175,341	178,938	185,407	197,881

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
FSC認証林面積	ha	目標	45,500	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
		実績	48,542	49,130	49,441	49,538	49,703	49,859
FSC認証材生産量	m ³ /年	目標	103000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
		実績	67,048	59,550	65,568	57,169	62,198	2025.9頃
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

FSC森林認証制度に基づく持続可能な森林整備・管理を推進するとともに、認証面積の更新・拡大も進め、市町村別認証面積日本一を維持した。
また、市内森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化することで、森林の新たな価値を生み出すことを目指し、J-クレジットの登録・認証に向けた取組を行った(天竜美林カーボンのクレジット創出モデル事業)。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り
・適切な森林整備・管理により、FSC認証林面積は増加し、市町村別認証面積日本一は維持したが、わずかに目標には届かなかった。
・カーボンのクレジットはJ-クレジットの取得に向けた取組が順調に進んだ(市場調査、妥当性確認審査(登録)等)。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)	-	-		10,299	8,903	0.2			
2	森林・林業施設管理事業	-	-		12,806	12,103	0.2			0.2
3	森林管理事業	○	○		57,083	19,948	5.1			1.1
4	治山事業	-	-		49,795	50,089	1.7			
5	森林保護事業	-	-		39,163	22,530	1.8			1.7
6	森林経営管理推進事業	○	○		28,735	29,332	0.2			
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					197,881	142,905	9.15			3.00

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

市民の森林・林業に対する理解増進を目的に、啓発事業等を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育						
事業とゴールの 関連性		負担金を支援している団体は、市民の森林・林業に対する理解増進を目的とした啓発事業等を行い、持続可能な都市の実現等に寄与している。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	8,430	8,528	8,688	8,562	8,767	8,903
	決算	8,430	8,528	8,434	8,558	8,763	8,899
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	8,430	8,528	8,434	8,558	8,763	8,899
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	360	280	700	2,100	1,400
人工	正規	0.1			0.1	0.3	0.2
	再任用(31h)		0.1				
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1			
年間経費(決算+A+B)		9,130	8,888	8,714	9,258	10,863	10,299

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
森林・林業体験活動への年間参加者数(人)		目標	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
		実績	2,827	1,392	1,193	1,994	1,589	2,133
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	06	01	001728000	01	林業振興課	小林 和重	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や林業活性化を図る団体などに対する経費を負担する。

- ・天竜流域林業活性化センター
- ・静岡県立森林公園運営協議会
- ・奥浜名自然休養林保護管理協議会
- ・静岡県山林協会
- ・みなとモデル協議会
- ・静岡県水資源造林協議会
- ・浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・各施設の運営等に対する助成を行い、参加者の森林・林業に対する市民の理解が進んだ。
- ・浜北森林公園(自然体験プログラム参加者数):2,133人
- ・天竜流域林業活性化センター(活動推進班活動参加人数):57人

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・負担金を支払う団体等の活動内容や決算状況等を注視し、金額の算定等を精査して支出した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・負担金を支払う団体等の活動内容や決算状況等を精査し、適切な負担金額の算定の見直しと対象団体との調整を行う。

事業シート (事業名) 02 森林・林業施設管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

森林での余暇活動の促進、都市と山村との交流の促進、林業従事者等の健康増進などを目的に、森林・林業施設の管理・運営を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育						
事業とゴールの 関連性		森林での余暇活動の促進、都市と山村との交流の促進、林業従事者等の健康増進などを目的とした事業は、持続可能な都市の実現等に寄与している。						

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	12,606	40,395	11,043	11,819	11,603	12,103
	決算	11,572	39,640	9,889	10,566	10,720	11,196
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	11,572	39,640	9,889	10,566	10,720	11,196
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		5,980	2,820	2,660	1,780	2,480	1,610
人工	正規	0.7	0.3	0.3	0.1	0.2	0.15
	再任用(31h)	0.3	0.2		0.3	0.3	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2			0.2
年間経費(決算+A+B)		17,552	42,460	12,549	12,346	13,200	12,806

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
森林体験・交流施設(天竜林業体育館)年間 利用人数(人)		目標	2,800	2,800	2,850	2,900	2,950	3,000
		実績	2,622	390	1,017	1,318	1,779	2,573
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ①指定管理施設の管理事業
・林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的とした「天竜林業体育館」の維持管理。
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
・市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的とした次の6森林交流施設の維持管理。
(舞阪町民の森、三方原防風林、観音山水源の森、湖畔の森、光明山生活環境保全林、市民の森)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ①指定管理施設の管理事業
・天竜林業体育館年間利用人数:2,573人
- ②森林ふれあい施設維持管理事業
・市民が安全に森林と触れ合うことができるように、所管する6つの森林交流施設等を適切に維持管理した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・電気料等の高騰により、施設運営は困難になっている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・天竜林業体育館の指定管理期間は2024～2028年度の5年間。引き続き、管理は、周辺の4施設と一体管理とした。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・天竜林業体育館の指定管理期間は2024～2028年度の5年間。
・施設の老朽化や市民ニーズの低下により利用人数が減少している施設について、施設のあり方を検討する。

事業シート (事業名) 03 森林管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理の大切さを啓発するとともに、市有林の適切な管理・保全を目的に、市有林の間伐等や森林を活用した地域企業等のCSR活動を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)才					

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	④教育	⑤陸上資源	⑥水・衛生	⑨イノベーション	
事業とゴールの 関連性		FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理を推進する事業は、SDGs(持続可能な開発目標)に合致するものである。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	3,503	3,510	6,361	7,422	14,424	19,948
	決算	2,798	1,740	6,756	6,769	12,510	18,303
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,416	1,010	6,092	3,394	11,740	9,933
	一般財源	1,382	730	664	3,375	770	8,370
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		46,040	36,900	36,900	34,740	37,140	38,780
人工	正規	5.6	4.5	4.5	4.5	4.7	5.1
	再任用(31h)	1.9	1.5	1.5	0.9	0.4	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)					1.0	1.1
年間経費(決算+A+B)		48,838	38,640	43,656	41,509	49,650	57,083

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
FSC森林認証面積(ha)	I-1(1) 才	目標	45,500	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
		実績	48,542	49,130	49,441	49,538	49,703	49,859
FSC認証材生産量(m ³ /年)	I-1(1) 才	目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
		実績	67,048	59,550	65,568	57,170	62,198	2025.9頃
年間間伐実施面積(ha)		目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		実績	2,552	2,316	3,212	2,095	2,092	2026.2頃
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2024年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	06	01	001728000	03	林業振興課	小林 和重	2025.7.1

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ① 森林認証推進事業
 - ・天竜林材業振興協議会に対する負担金 (FSC森林認証更新審査料負担金)
- ② 市有林管理事業
 - ア 市有林の間伐、法面保護工事等の整備
 - イ 市有林の活用
- ③ 天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業
 - ・市内森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化することで、森林の新たな価値を生み出す



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ① 森林認証推進事業
 - ・適切な森林管理により、FSC森林認証面積を49,859haまで増加
- ② 市有林管理事業
 - ア 向山市有林(細江): 間伐、小野市有林(細江): 法面保護工事
 - イ 市有林の活用
 - (小堀谷市有林をフィールドに「しずおか未来の森サポーター制度」に基づく協定締結企業が森づくり活動を実施)
 - (小堀谷市有林をフィールドに国際基準のカーボンクレジットVCS創出のための実証実験: 浜松市及び協定締結企業が実施)
- ③ 天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業
 - ・Jクレジット妥当性確認審査の実施、3プロジェクトの登録完了
 - ・天竜美林カーボンクレジット販売に向けた市場調査

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・政府が2050年までのカーボンニュートラルの実現を表明したことから、カーボンクレジット(森林由来含)に対する関心が高まっている。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人件費

・天竜林材業振興協議会(市内6森林組合や市等が参加する組織)と連携してJ-クレジットのプロジェクト登録を完了した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人件費

・2025年度中にJ-クレジット販売スキームの構築を目指す。

事業シート (事業名) 04 治山事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守ることを目的に、林地や下流に被害が及ぶ恐れのある森林を保全する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑬気候変動	⑮陸上資源	⑥水・衛生	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	治山事業により林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守ることは、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	28,192	31,972	66,420	40,540	19,940	50,089
	決算	14,073	26,135	37,608	30,498	11,209	37,895
	国・県支出	5,933	15,832	18,599	13,508	4,093	8,002
	市債					700	14,900
	その他			5,580	5,332	6,020	12,442
	一般財源	8,140	10,303	13,429	11,658	396	2,551
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,800	9,800	9,800	11,200	11,900	11,900
人工	正規	1.4	1.4	1.4	1.6	1.7	1.7
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		23,873	35,935	47,408	41,698	23,109	49,795

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
地元要望に基づき県単独補助金を活用した治山工事(予定箇所)の着工率(%)		目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ① 県単独補助治山事業
 - ・ 県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び林地の復旧を実施。
- ② 市単自治山事業
 - ・ 国及び県の補助の対象にならない箇所を、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を実施。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題
指標の達成度
 - ① 県単独補助治山事業
 - ・ 水窪町奥領家(長尾)地区
 - ・ 佐久間町大井(仙戸)地区
 - ・ 春野町長蔵寺(塩沢)地区 (R5繰越分)
 - ② 市単自治山事業
県営治山事業関連・施設修繕等その他治山工事等
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

- (1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工
 - ・ 一部の繰越となった事業を除き、計画どおり事業を執行し、山地崩壊地の復旧や山地災害を未然に防ぐことができた。
- (2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工
 - ・ 計画に基づいた事業を執行し、山地災害を未然に防止していく。
 - ・ 森林管理が進まず荒廃状態にある森林について、山地災害予防等の観点から整備を促進させる。

事業シート (事業名) 05 森林保護事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることを目的に、必要な対策事業を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2006	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、鳥獣保護法、森林病害虫等防除法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	-	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑬気候変動	⑮陸上資源	⑥水・衛生	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	森林保護事業により森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることは、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。			

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	19,939	32,118	26,010	22,538	37,154	22,530
	決算	19,522	28,473	18,620	20,670	34,840	21,803
	国・県支出	495	513	549	565	443	457
	市債						
	その他						9,686
	一般財源	19,027	27,960	18,071	20,105	34,397	11,660
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,660	12,280	12,040	18,760	18,960	17,360
人工	正規	2.1	1.6	1.6	2.0	1.8	1.8
	再任用(31h)	1.1	0.3		0.7	1.3	
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.3	0.8	0.6	1.7
年間経費(決算+A+B)		38,182	40,753	30,660	39,430	53,800	39,163

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
松くい虫被害木の被害率(舞阪町民の森) ※被害本数/全本数(%)×100		目標	-	-	-	-	25	20
		実績	-	-	-	-	22.1	8.9
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ①防風林等被害対策事業
- ・舞阪町民の森においては松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤地上散布を実施。
 - ・三方原防風林においては伐倒駆除及び林内管理業務を実施。
 - ・森林公園周辺においては薬剤空中散布を実施。
- ②カモシカ被害対策事業
- ・造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息状況や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を実施。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題
指標の達成度
- ①松くい虫被害対策事業
- ・伐倒駆除 舞阪町民の森／材積:326m³、三方原防風林／伐倒23本
 - ・薬剤散布 浜北森林公園周辺・舞阪町民の森
- ②カモシカ被害対策事業
- ・カモシカ個体数調整(52頭)、被害実態調査(30箇所)、野生動物対応報奨金
- ③野生鳥獣出没緊急対応事業
- ・住宅地等への野生鳥獣出没に対する緊急出動
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

- (1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・三方原防風林は、2020年度から松くい虫被害木の伐倒駆除を重点的に進め、2024年度も23本の伐倒駆除を実施。
 - ・舞阪町民の森も伐倒駆除を強化し、住宅や遊歩道に隣接する危険性が高い枯れ松の伐倒を進めた。
- (2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
- 大項目 小項目 / 事業費 人工
- ・舞阪町民の森について、引き続き、伐倒駆除を進めるとともに、薬剤散布や予防剤の樹幹注入を含めた残存する松の適正管理を行う。
 - ・カモシカによる森林被害を抑制するため、計画どおりに個体数調整を実施していく。

事業シート (事業名) 06 森林経営管理推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

適切に管理されていない森林に対して所有者の同意を得て経営管理権等を設定し、意欲と能力のある林業経営者に森林経営管理を委ねることで、林業の成長産業化及び適切な森林整備を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2019	-	一般会計	自治事務(その他)	森林経営管理法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)才					

(4) 関連するSDGsのゴール

	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源	⑥水・衛生	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	森林経営管理法施行に伴い、森林を適切に管理していく本事業は、強靱な国土形成や持続可能な森林経営に資するものである。				

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	14,278	26,667	36,219	48,799	33,385	29,332
	決算	14,278	26,666	30,954	33,297	33,385	27,335
	国・県支出						
	市債						
	その他	14,278	26,666	30,954	33,297	33,385	18,356
	一般財源 一般会計繰入金						8,979
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		15,678	28,066	32,354	34,697	34,785	28,735

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
FSC森林認証面積(ha)	I-1(1) 才	目標	45,500	48,900	49,200	49,500	49,800	50,100
		実績	48,542	49,130	49,441	49,538	49,703	49,859
森林経営計画認定面積(ha)		目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
		実績	21,083	18,101	18,568	18,140	14,867	14,411
森林管理システム調査面積(ha)		目標	180	240	240	360	360	360
		実績	161	272	294	270	196	195
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- ① 森林管理意向確認等調査業務
 - ・森林所有者への経営管理意向調査・確認
 - ・経営管理権集積計画策定
 - ・計画対象の森林所有者同意取得
 - ・経営管理権集積計画の告示、経営管理権設定
- ② 浜松版森林経営管理事業
 - ・経営管理権集積計画に基づく間伐(環境伐)の実施



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ① 森林管理意向確認等調査業務の実施(計/調査人数:138人、調査面積:195.25ha)
 - ・春野地域/調査人数:10人、調査面積:19.06ha
 - ・水窪地域/調査人数:24人、調査面積:35.31ha
 - ・佐久間地域/調査人数:3人、調査面積:20.38ha
 - ・天竜地域/調査人数:45人、調査面積:61.37ha
 - ・龍山地域/調査人数:16人、調査面積:24.36ha
 - ・引佐地域/調査人数:40人、調査面積:34.77ha
- ② 浜松版森林経営管理事業
 - ・間伐(環境伐):7.09ha(1箇所/引佐地域)

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

2024年度から森林環境税の徴収がはじまり、森林経営管理法に基づく本事業については、更なる市民への説明責任が必要である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・前年度の調査結果に基づき経営管理権集積計画を策定して実施する間伐(環境伐)を行い、荒廃森林の整備が進んだ(7.09ha)。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・2024年度から森林環境税の徴収が始まったため、市民の理解向上を目指し、譲与税の活用方法の更なるPRに努める。